

家庭 科 2 年 家庭基礎 年間授業計画（シラバス）					
科目名	家庭基礎	対象	全	コース	単位数 1 単位
教科書	家庭基礎ともに生きる・持続可能な未来をつくる			出版社	第一学習社
副教材	2020 最新生活ハンドブック				

1 学習の到達目標

- ① 五大栄養素の働きとそれらを多く含む食品を理解し、バランスのとれた食生活を実践できるようにする。
- ② 高齢者の身体状況への理解を深め、将来の高齢社会のあり方を考えられるようにする。
- ③ 生活に必要なお金にはどのようなものがあるか理解し、将来を見通した家計管理ができるようにする。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の 観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の 内容	家庭や地域の生活について関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	家庭や地域の生活について課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し創造する力を身に付けている。	家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。	家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価の 方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学習プリントへの取り組み ・定期考査 ・学習課題の提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習プリントへの取り組み ・定期考査 ・学習活動への姿勢 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習への姿勢 ・提出課題の完成度 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 定期考査 70% 平常点（学習態度・小テスト・課題など） 30%

3 学習計画

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	時間数
4	・ガイダンス	・学習のねらい、授業の概要、評価方法(単位認定)を理解する。 ・「家庭基礎」を学ぶ意義を理解する。	1
5	5章 食べる	・食生活に関心を持ち、食事バランスのよい食事摂取の重要性を理解する。	10
6	1節 人の一生と食事	・食生活を振り返り、食生活の変化や課題について知り、良い食生活の実践に役立てる。	
7	2節 栄養と食事 3節 食生活の安全のために	・栄養素の種類とはたらきを学習し、各栄養素を多く含む食品の特徴を理解する。	
	【1学期期末考査】		
9	5章 食べる	・日本人の食事摂取基準、食品群別摂取量のめやすを理解し、バランスのとれた食生活ができるようになる。	3
10	4節 食生活をデザインする	・4つの食品群による摂取量のめやすを理解する。	6
	3章 充実した生涯へ	・高齢社会の現状と課題を理解する。	
	1節 高齢期を生きる	・高齢期の心身の変化や特徴、個人差が大きいことを理解する。	3
11	2節 高齢社会を支え合う	・高齢者を支える制度と課題を考える。	
	4章 とともに生きる	・社会保障制度の必要性とその仕組みについて認識し、それぞれの範囲について理解する。	3
12		・ノーマライゼーションの実現のために必要な実践的な態度を身につける。	
	【2学期期末考査】		
1	8章 経済生活を営む	・経済的自立と職業について主体的に考える必要性を理解する。	5
2	1節 私たちの暮らしと経済	・生活の基盤となる家計管理の重要性を認識し、ライフステージ全体を見通した家計管理をできるようにする。	
3	2節 消費者問題を考える	・家計から見てくる社会の仕組みを理解する。	
	3節 持続可能な社会をめざして	・契約や消費者信用、多重債務問題などを学習し、消費者として適切な判断をできるようにする。 ・大量消費から環境負荷の少ないライフスタイルへの転換を考え、持続可能な生活ができるようにする。	2
	9章 生活をデザインしよう	・自分の目指すライフスタイルを踏まえ、高校卒業後の生活設計を立てる。	
	【学年末考査】		

家庭 科 3 年 家庭基礎 年間授業計画（シラバス）					
科目名	家庭基礎	対象	全	コース	単位数
教科書	家庭基礎 自立・共生・創造			出版社	東京書籍
副教材	なし				

1 学習の到達目標

- ① 各ライフステージの特徴と課題を理解し、生涯を見通した生き方を考えられるようにする。
- ② 生活に必要なお金にはどのようなものがあるか理解し、将来を見通した家計管理ができるようにする。
- ③ 五大栄養素の働きとそれらを多く含む食品を理解し、バランスのとれた食生活を実践できるようにする。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の 観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の 内容	家庭や地域の生活について関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	家庭や地域の生活について課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し創造する力を身に付けている。	家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。	家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価の 方法	<ul style="list-style-type: none"> 学習プリントへの取り組み 定期考査 学習課題の提出 	<ul style="list-style-type: none"> 学習プリントへの取り組み 定期考査 学習活動への姿勢 	<ul style="list-style-type: none"> 授業への姿勢 提出課題の完成度 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 定期考査 70% 平常点（学習態度・小テスト・課題など） 30%

3 学習計画

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	時間数
4	・ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> 学習のねらい、授業の概要、評価方法(単位認定)を理解する。 「家庭基礎」を学ぶ意義を理解する。 	1
5	[第1章 自分らしい人生をつくる] ・生涯発達の視点 ・青年期の課題 ・家族・家庭をを見つめる ・これからの家庭生活と社会	<ul style="list-style-type: none"> 青年期に果たすべき発達課題について理解する。 男女が相互に協力して家庭を築くことの重要性を理解する。 家庭生活を支える労働の特徴を理解し、ワーク・ライフ・バランスについて考える。 	10
6	[第8章 経済生活を営む] ・職業生活を設計する ・計画的に使う	<ul style="list-style-type: none"> 経済的自立と職業について主体的に考える必要性を理解する。 生活の基盤となる家計管理の重要性を認識し、ライフステージ全体を見通した家計管理をできるようにする。 家計から見えてくる社会の仕組みを理解する。 	8

7	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の消費社会 ・これからの消費生活と環境 <p>[第7章 住生活をつくる]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住生活について考える <p>【1学期期末考査】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・契約や消費者信用, 多重債務問題などを学習し, 消費者として適切な判断をできるようにする。 ・大量消費から環境負荷の少ないライフスタイルへの転換を考え, 持続可能な生活ができるようにする。 ・住居の機能や間取りについて理解する。 ・住居の空間の構成を理解する。 ・住居を借りる際に必要な情報の収集や費用について理解する。 	5
9	<p>[第5章 食生活をつくる]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食生活の課題について考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活に関心を持ち, 食事バランスのよい食事摂取の重要性を理解する。 ・食生活を振り返り, 食生活の変化や課題について知り, 良い食生活の実践に役立てる。 	14
10	<ul style="list-style-type: none"> ・食事と栄養・食品 ・調理の基礎 ・生涯の健康を見通した食事計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養素の種類とはたらきを学習し, 各栄養素を多く含む食品の特徴を理解する。 ・日本人の食事摂取基準, 食品群別摂取量のめやすを理解し, バランスのとれた食生活ができるようになる。 ・4つの食品群による摂取量のめやすを理解する。 	
11	<p>[第2章 子どもと共に育つ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの育つ力を知る ・親として共に育つ ・これからの保育環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの育つ力と発達段階を理解する。 ・子どもを取りまく社会変化の現状について理解する。 ・児童福祉の理念を理解し, 子育て支援の現状を学ぶ。 	3
	<p>[第3章 高齢社会を生きる]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢期を理解する ・高齢者の心身の特徴 ・これからの高齢社会 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会の現状と課題を理解する。 ・高齢期の心身の変化や特徴, 個人差が大きいことを理解する。 ・高齢者を支える制度と課題を考える。 	3
12	<p>[第9章 生活を設計する]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯を見通す <p>【2学期期末考査】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の目指すライフスタイルを踏まえ, 高校卒業後の生活設計を立てる。 	2